

大学の世界展開力強化事業（平成 30 年度採択）事後評価結果の総括

令和 6 年 3 月 1 日

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会

この度、本事業において平成 30 年度に採択され、米国等との大学間交流を実施し 5 年間の補助期間が終了した 10 件（タイプ A 9 件、タイプ B 1 件）のプログラムについて、事後評価を実施した。

今回の評価では、令和 2 年度から続く新型コロナウイルス感染症の世界的な発生により、国境を越えた移動が制限される中で、各大学の国際化に向けた工夫や改善についても評価するため、オンラインによる交流も一部実績に含める等の対応を継続して行った。

結果は、S（「事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された」）が 3 件、A（「事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された」）が 6 件、A-（「一部でやや不十分な点はあるものの、概ね事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された」）が 1 件となった。このことから、各プログラムは当初の計画に沿って目的を概ね実現し、期待された成果を挙げたものと評価できる。

なお、本評価においては、A が標準的な評定である。

今回、事後評価の対象とした各プログラムにおいて補助期間中に交流した学生の総数は、派遣された日本人学生が目標 2,373 名に対して実績 5,080 名、受入れた外国人学生が目標 1,624 名に対して実績 4,343 名であった。

事後評価を通じて認められた特筆すべき取組内容は、以下のとおりである。

- スマート・ラーニングの活用により日本から海外に留学中の学生に対し母校での学修を継続できる仕組みの構築や、海外リエゾンオフィスの活用等、学生の海外派遣の拡大が期待できる取組がなされた。
- コロナ禍においてもプログラムを拡充するなど、創意工夫により当初計画レベルの交流を推進し、大学内にオンライン授業を浸透させるとともにハイブリッド型やオンライン型の COIL 型教育が内在化された。
- 事業の発展とともに学術・学生交流協定校を増加させたこと、地域や NPO との連携を行ったこと等、事業内部のみに留まらない拡充・発展が行われ、学内外への一層の波及効果が期待できる。
- 本事業による成果を一般の人々や産業界にも発表する機会を設けフィードバックを受けて教育の質を上げた。また、外部評価者による会議を開催し事業の改善や発展へと繋げた。
- COIL 型教育を中心とした大学の国際化の進展により、教員や事務職員との共同作業や情報発信も進み、今後の事業継続のための組織的インフラ整備が進んでいる。
- プラットフォーム構築に取り組むプログラムでは、マッチングフェアやセミナー、ウェビナーの開催等の広報活動や情報発信を行い、採択大学以外も含む国内大学を先導し、かつ米国以外の第三国への普及も視野に入れ COIL 型教育を牽引した。

5年という限られた補助期間において、それぞれの大学のグローバル展開力の強化に繋がる基盤の確立と同時に、事業の実施を通じて着実に知見と経験を積み上げ、成果を挙げた点は高い評価に値する。

今後の事業継続にあたっては、国際情勢や新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえつつ、オンラインを活用した交流についても推進していくとともに、質保証を伴った真に価値あるプログラムを提供していくことが求められる。

引き続き、各大学がこれまでの取組を発展的に継続し、グローバルに活躍できる人材の育成に寄与していくことを期待する。

大学の世界展開力強化事業（平成30年度採択）事後評価結果一覧

設置区分	整理番号	大学名（代表大学）	事業名	評価
国立	AA01	千葉大学	COILを使用した日米ユニーク・プログラム	A
国立	AA02	東京大学	日米のCOIL型教育を活用した先端ワールド・グローバル工学人材育成プログラム	A
国立	AA03	東京外国語大学、国際基督教大学	多文化主義的感性とコンフリクト耐性を育てる太平洋を越えたCOIL型に日米教育実践	S
国立	AA04	東京芸術大学	日米ゲームクリエイション共同プログラム-メディア革新時代の新しいアーティスト教育-	S
国立	AA05	鹿児島大学	米国から鹿児島、そしてアジアへ-多極化時代の三極連携プログラム	A
国立	AA06	琉球大学	COIL型教育を活用した太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成	A
公立	AA07	大阪公立大学	日米をつなぐ共創的ソーシャルイノベーター育成プログラム	A-
私立	AA08	上智大学、お茶の水女子大学、静岡県立大学	人間の安全保障と多文化共生に係る課題発見型国際協働オンライン学習プログラムの開発	A
私立	AA09	南山大学	日米をつなぐNU ⁴ -COIL ² ～地域に根ざしたテイラーメイド型教育プログラム～	S
私立	AB01	関西大学	グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plusプログラム	A

参考：評価区分

S	事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
A	事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された。
A-	一部でやや不十分な点はあるものの、概ね事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現されたと判断された。
B	事業計画をやや下回っているが、事業目的はある程度実現された。
C	事業計画を下回っており、事業目的はあまり実現されていない。
D	事業計画を大きく下回っており、事業目的はほとんど実現されていない。